



自分で考えた動物などのキャラクターを描く児童たち＝通称町

漫画でキャラ 上出来だ 通称小4年生学ぶ

漫画のキャラクターの描き方を学ぶ授業が10日、通称町の通称小であり、4年生約40人が参加した。子どもたちの自由で豊かな表現力を育もうと、町が毎年開いている。

同時に通称主人が実演があり、児童を指導したまもづくりが盛ん。授業は、通称大光寺学園の小川剛を教授（30）が講師を務めた。

小川教授は、かわいく描くコツに

ついて「顔を大きく描き、目の位置を下げてみて」と紹介。児童は鉛筆を使い、思い通りに動物のキャラクターなどを描いた。

犬のキャラクターに挑戦した眞田愛菜さんは「顔がかわいく描けてうれしう。絵を描くのが好きになった」と話した。通称小でも授業の授業が聞かれた。

（通称厚野）